広報かじき

発行所　鹿児島県姶良郡加治木町役場　（一戸一枚配付）
発行人　曽木隆輝　編集人　中元邦夫　印刷所　吉屋印刷所

◇……安楽校長の勇退を惜しむ

柁城小学校の安楽校長が、去る3月末で勇退されることになり，4月14日町議会，教育委員会，PTA，校区婦人会など発起して盛んな感謝会を催した。曽木町長作詞，島津範子作曲の安楽先生を送る歌も児童により合唱され，本町20余年の学校教育につくされた功績をたたえた。

◇……収入役に岩元房友氏を再任

町収入役は去る3月31日で任期満了になつていたが，さきほど開かれた町会議で，岩元房友氏を再任することにきめた。

昭和37年度加治木町の学校教育方針と社会教育方針

加治木町教育委員会では、新年度を迎えるにあたり、教育方針を次のとおり発表しました。より明るい、より豊かな郷土建設のため、町民皆さんのご協力をお願いいたします。

学校教育方針

国及び県の教育方針に則り自主的研究と、相互研修の推進により、基本的学習態度を確立し、個に徹した指導管理の強化と、粘り強くして寛大明朗な子どもの育成に尽し、意欲的な学校経営の適正化と道徳的実践力のかん養に努め以て校風の樹立を期する。

以上の方針を具現し、本町教育振興の充実を期するための努力点を次のように定める。

一、学力水準の向上
二、科学技術並びに産業教育の振興
三、体力の充実
四、道徳教育の徹底
五、PTAとの連けいと充実
六、事務の能率的処理態勢の確立

社会教育方針

加治木町における社会教育活動は、県の社会教育方針に則り、あくまでも地域社会の基盤の上に立つて、住民一人一人の人間育成のため、新生活への意欲を高めて教養、文化、生産面の諸社会教育事業を推進し、明るい豊かな郷土を建設するために

一、自主的、民主的で協調性のある人間育成につとめる。
一、科学的な生産を進め得る人の育成につとめる
一、次代を背負う健全なる青少年の育成に努める

以上の方針を具現するために本年度は、特に、次の点を推進したい。

◈努力目標

一、青少年教育の振興
二、男子成人、婦人教育の振興
三、新生活運動の推進
四、民主団体の育成強化
五、視聴覚教育の充実
六、文化活動の促進
七、図書館学習活動の推進

緑の季節に話題の人
下猶モトさん表彰さる

さきほど鹿児島市で行なわれた昭和三十六年度県緑化推進委員会総会の席上、本町辺川部落の下猶モトさんが、緑化功労者として表彰をうけました。その話題の人、下猶さんの造林を紹介しますと、所有山林を年々雑竹林から利用度の高い用材林への転換をされ、特に戦時中男手不足の時は、女子労働者五人で約一町歩の造林をされ、当時六十四才であつた下猶さんは、その後行きとどいた管理をされ、今度行なわれた県主催の間伐品評会に出品されるような立派な山となつており、本年も五反の造林をされ、八十四才の老体ながら、手に鎌をもつて造林地の下刈りに毎日励んでおられます。

育英奨学資金による貸付者12名決る

昭和三十七年度加治木町育英奨学資金は、志願考大学生九人、高校生十四人の中から詮衡の結果、次の十二名に貸与することに決つた。

⊙大学生（五名）
溝口直隆　山下和男
川原貞孝　河野正俊
松崎俊道

⊙高校生（七名）
榎谷一文　馬場宏二
猪俣和子　岩元清文
鮫島　誠　田丸健二
福崎ヒデ子

県外先進地をみて
町議会議員 行政視察報告

△すさき海岸の貝ほり

すさき海岸では、さきに町の補助で、蛤などをまいてシーズンをまつていたが、最近宮崎方面から多数の観光客が見えるようになり、四月初め町は水道をひき、テントを用意するなど観光協会や地元と受入れ態勢をすすめている。

△黒川に遊園地設置か

黒川に大きな遊園地を設ける話しが進められている。町も出来るだけの協力をなし、関係者と早急な実現をするため工夫をこらしている。

△県立工業の屋体着工

県立工業高校の電気科が今年発足したが、来年機械科増設も決定した。とりあえず屋体もつくることになり、町が八十万、他に四十五万も姶良溝辺、浦生町から寄附されることに話しがついた。卒業生とPTAも百二十五万円を出すことになつている。

△えき北側にプロパンガス工場新設

駅の北側、吉原たんぼに、さつま商事のプロパンガスつめかえ工場が出来ることになり、約七反歩、土地は買収済

△海岸保全事業所設置きまる

数年前から海岸の堤防を強化することで、町長は農林省と交渉していたが、今年から着手することになり、事務所も遂に加治木に置くことに話しがつき、職員十数名が近く着任する。

△驛前広場舗装完成

三年がかりで駅前大通りの舗装を、山藤建設の手でやつてきたが、昨年末鉄道からも金を出すことに急に決定し、一挙にかたづいた。県内は勿論全国的にも珍らしいことと国鉄でもよろこんでいる。

△桑迫道路と錦江橋予算きまる

三十七年度事業のうち、西別府の菖蒲谷から桑迫への道路新設が農林省で決定、錦江橋のかけかえ工事も大へん問題があつて、困難と思われたが八〇〇万円の工事費が建設省できまつた。内容がまだわからないが、或いは二ケ年でやることも考えられる。

△天神大通り線

建設省で工事費四〇〇万円を決定した。

△竹下橋と柁城小プール

両方とも失対事業で工事を急ぐことになつたが、大事業であり、建設課もはりきつている。

△加中と永原中出來あがる

両方とも三十六年度事業は立派に完成。中島建設と松田組の努力により、立派なものが出来あがつた。

△工場汚水問題片づく

工場汚水問題で、工場と漁協との間にいざこざがあつたが、町長と議長で仲介し落着いた。なお、多件の一つである海巣をつくる問題については、町長と漁協長は、県に交渉し国又は、県の補助で作ることにほぼ見とおしがついた

△大工左官さんの賃金

加治木町土建組合の春季総会は去る三月二十一日開かれ次のとおり賃金と就労時間がきまりました。

一、賃金
大工〜八〇〇円
左官〜八五〇円
（何れも最低とし、時間外は一時間が一〇〇円）
二、就労時間
○四月から九月（午前八時〜午後六時まで）
○十月から三月（午前八時〜午後五時まで）

△近く勤労青年の実態調査を行ないます

四月中旬から五月中旬にかけて行ないます。調査内容は経営状況、労働力、今後への営農方針、営農上の問題点などです。直接に実際の声を聞きたいと思いますので、ご協力ください。（町公民館）

▽県町村議会の計画による先進地視察に、本町から11名参加しましたが、その視察報告のその儘を紹介し、今後の本町産業振興の資料にしていただきたいと思います。……△

●視察参加者（順序不同）
松田義則、古閑福太郎
中原　茂、美坂猪三郎
川原　光、大宮路篤男
郡山南男、故簗瀬　運
土橋習一、竪山喜一郎
岩田一郎（計11名）

●視察の目標
政府の所得倍増計画と、農業基本法に基ずく農村のあり方について、農業高度化の推進、農業基盤の整備、農業構造の改善等施策の推進が行なわれているのであるが、河野農相は神奈川県、千葉県をモデル地区として今後の指導方針を打ち立てられるとの事で、特に、成長農業振興策として最近農家に広くとり入れられつゝある養豚、養鶏、酪農、果樹の栽培等につき経営の状況を視察し、鹿児島県における今後の農業経営に資したいというのが今回の視察目標であつた。

●視察日程と視察箇所
一、十月二十九日より十一月三日まで六日間。
二、主な視察箇所
神奈川県
○小田原市片浦平川地区のみかん集団地
○平塚市旭農協の運営状況
附近蔬菜園芸
○同市畜産センター共同経営
○座間町中央養鶏農協（十七万羽養鶏）
千葉県
○市川市梨園、いちご栽培
○鎌ケ谷町日本冷蔵の試験場、養鶏、養豚
○千葉市農林省畜産試験場
旭岡酪農協（酪農の共同化経営）
○四街道町鹿放ケ岡農協共同養鶏場
千葉農場の酪農

●視察の感想
視察箇所の詳細について述べることは紙面の都合上できないので、要点だけを記すことにします。
大消費地東京都、横浜市をひかえた農村地帯での経営であり、鹿児島のような地方とは環境的な面、地域差等により経済事情が異なるので、簡単に批判は出来ないが、今後の農村の進むべき方向なり農家経営のあるべき姿等につき技術的な面は別として大きな指針を得たものと信じる。

※二面一段へつづく※

4月の納税

固定資産税1期分と軽自動車（年分）税です。
ご協力ください

香典返しを寄附

次の方々から町社会福祉協議会に、香典返しとして寄附をいただきました。ご芳情厚くお礼申しあげます。

一金弐千円也（中野）永吉平助殿
一金弐千円也（岩原）西田のぶ殿
一金壱千円也（本町）立山恒幸殿
一金弐千円也（須崎）宮路俊一殿
一金弐千円也（本町）小川キク殿
一金弐千円也（辺川）大宮路時義殿
一金弐千円也（岩原）浜田初男殿
一金参千円也（札立）大脇三二殿
一金壱千円也（港町）竹下ケサギク殿
一金弐千円也（須崎）郡山　茂殿
一金参千円也（江湖）新名忠右ヱ門殿
一金参千円也（西反土）今薗ヱイ殿
一金弐千円也（岩原在大阪）松木政明殿
一金参千円也（小田倉）宮脇利基殿
一金壱千五百円也（田中）松下重則殿
一金壱千円也（小山田）藤田ふじえ殿
一金壱千円也（みろく）湯川清美殿
一金弐千円也（本町）川井田清殿
一金参千円也（在出水市）二見　弘殿
一金壱万円也（岩原在東京）簗瀬　彰殿
一金壱千四百五拾円也（岩原）松元　貢殿
一金五千円也（茶碗屋在大阪）川原　勝殿
一金壱千円也（竹下）岩下栄熊殿
一金壱千円也（上川内）上野初男殿
一金五千円也（萩原）安藤久江殿

部落ぐるみの労力奉仕で

立派な農道できあがる

小山田迫部落

小山田迫部落といえば、五〇戸余りの純農村である。かねてから部落中堅青壮年層の間に、農業経営の近代化についてその方策を話しあつていたがこれが基盤をなすものは、やはり土地条件の整備が先決であるとし、部落全戸一丸となり、農道新設に踏みきつた。特に、この工事が、延長三六三米（巾員二、八米）大事業だけあつて、部落の負担も大きく、資材購入費約三十万、労力奉仕人員も約七〇〇人に及んでいる。この道路新設によつて特に、溝辺崎森に将来連結し畑地帯の甘藷澱粉工場の計画もあるので、これが輸送の動脈となり、生産向上に大いに役立つこととなろう。

防犯灯設置運動たかまる

町内街路を明るくすることは、交通安全の上から、又、防犯の面からもぜひ必要なことであります。昨年末結成した町防犯灯設置促進協議会では、とりあえず、警察の調査した五十灯を早急にふやしていく計画であり、現在運動中であります。それと併せて、折角設備はありながらも、故障でついてないものは、気付き次第九電で、点検修理サービスを行なつています。商工会や、南日本電気工事会社、九電なども、この運動に出来るだけの協力をすることになつていますので、部落や、婦人会の方でも、充分検討していただいて、町内が少しでも明るくなり、犯罪のない町づくりのためご協力願います。

※一面よりつづき※

今後の農村において畜産にせよ果樹園芸にせよ、栽培法、品種の統一、品質改良、労力の問題、集荷、統制ある販売等合理的な而も近代的な運営が当然考えられるのであるがそれには集団化、共同化、機械化という事は必然的に取り組まなければならぬ問題である

小田原市の片浦のみかん集団地における経営の状況、又座間町の養鶏組合において高率生産を目途に環境の勝れた土地の選択、共同化による合理的養鶏、経営の工業化と言う目標の下に大きな発展をとげつゝある事は如実に近代的農業経営の進むべき道を示しているものと思う。

然し、事業が軌道に乗るには相当の年月を要するのである。所得の増加、利益の増大をあせつてはならない。一年か二年養鶏や養豚をやつて鶏は駄目だ、豚は損をすると言つて直ぐ投げてしまうような事では事業は成功しない。この経営をみても始めから軌道に乗り計画とおり進むのではなく、一朝一夕に好成績を上げているのではない。千葉県の旭岡酪農協、鹿放ケ岡農協の養鶏、酪農等時期的には良かつたかもしれないし、着意着想のよさ、而も企業としてふみ切つて共同施策にもつて行つた所が着々軌道に乗つたのだろうが、今日の曙光を見出すまでには並々ならぬ苦労があり、中には途中脱退者さえ出ているのである、ねばり強く苦悩をのり切つて今日に至つているのである。

研究と努力、苦難を乗り切る腹がまえがなくては出来ないのである。千葉県市川市の農家の梨園経営者は親子四代に亘る経営であると聞いた時成る程とうなずけるわけで今「千葉なし」として全面的に市場の声価を高めている所以も分るのである。

地域の特異性を生かして経営し、研究の方向を定めて計画的に各方面からの研究が必要な事は言うまでもないが、千葉県鹿放ケ岡農協の千葉農場で酪農をやつている場長の安孫子六郎さんと言う人は、乳牛の飼料作物の研究では日本一だと言われている人であるが、色々お話しを聞いて実に堂々たる学者である。こう言う人こそ信念をもつた本当の酪農家であり、酪農事業が企業として将来性のある本業だという感じを持つたのである。乳牛に喰わせる草を作つても「反収四万円にはなります」と語つておられたのである。この地方には高い岡の上に水源地を作り附近一帯の畑地に散水する施設まで完備している場所である。

集団化とか、共同化、機械化という事になれば、農道の重要性はご承知の通りであるが、片浦のみかんの集団園の農道は舗装道路だと聞かされたのであるが、加治木など農道など今後に残された大きな問題だと思う。道路という観念が馬牛が通り人間さえ通れば道路だという考えがぬけないが、今後、部落道路にしても自動車の往来できる道という事と考えて、思い切つて拡張するよう町民各自が協力すべきだと思う。

各地を旅行してお互いに感ずる事は、世はまさに観光ブームの時代だと言う事である国家の援助とか、大きな会社等と提携して自然を利用し、或は人工を加え大きな構想の下に莫大な資金を投じて観光施設が行なわれている。今日特別勝れた風光なり名所旧跡があり、特殊な産業がない限り小さな観光施設位では中々人は集まらない。

鹿児島県には霧島とか、指宿、桜島と言う勝れた観光地があり大きな施設を見つゝあるが、こうした大きな観光地の中にある加治木としてどうという事が考えられねばならないか。難しい問題で簡単には言い切れないのである。黒川山とか、黒川の臨海道路とか、温泉とか色々の構想を承り、立派な御意見ではあるが、更に大きな見地から検討を加え工夫の必要がある。なお、今後考慮すべき問題として畜産、果樹園芸その他特産物を作り出し、産業と結びついた観光面の開発を忘れてはならない。千葉県旭ケ岡でブドウを中心とした観光を考慮中との事であつた。静岡県のみかん園とか、近くは指宿の熱帯植物、桜島の果樹大根等その他例は多いのである。産業的なものを加味した観光施設は根強さがあり、物心両面の満足を得られるような施設を工夫し研究する事は観光の上にも重要な問題ではないかと思う。

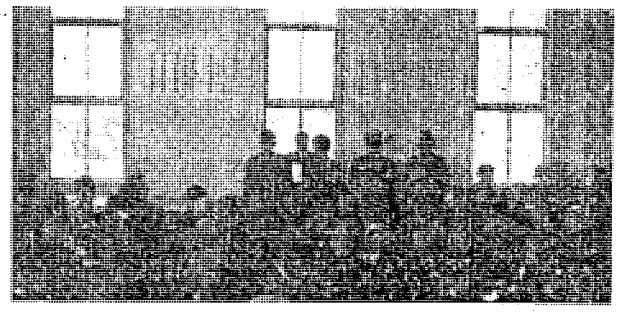
今回視察した千葉県、神奈川県は何れも郊外には何々工場建設予定地という立札がいたる所に立ちならんでいる。外貨の悪化により設備投資が押えられるとは言つても、近く工場設置を見る事は明かである。東京、横浜という大消費地に近い上、海陸交通の利便と相まち工場適地は相当多いので、工場誘置など問題ではないように察せられる。

農業経営についても農家の労力問題など困つている面もあるが、農業基本法に基ずく専業農家とか、経営方針にしても、河野農相のえがく近代化農業の理想的な形態のものに進み得る可能性が多分にあるように考えられるのである

これに引きかえ鹿児島県、特に、加治木町など工場一つ持つてくるのでも余程の好条件がない限り中々困難な面が非常に多いのである。農家と言えども所得の倍増はできぬまでも、適地適産とか、選択的拡大というような方向での農業基盤の整備は今後の農政の重点の一つになるが、何と言つても近代的農業経営の道を進み収入の増加を計らねばならぬ運命にある事は明らかである。

今日養鶏一つとつて考えても二十万羽養鶏とか、三十万羽養鶏とか呼ばれている時代である。設備資金の問題、飼料の問題、販売、廃鶏処理場等中々困難な面が相当多いが今後当局の援助と共に養鶏業者の一致協力により解決せねばならない問題をもつているのである。お互いに先進地の勝れた経営の実態を調査研究し、将来の方向を確かに見極め工夫と研究努力を重ね、他県の農家に劣らぬ経済力を持ち、大いに福利の増進を計る事に邁進せねばならぬと考えるものである。

県社会教育大会で本町公民館表彰さる



さきほど鹿児島市で行なわれた才五回県社会教育大会の席上、伊集院町、枕崎市旭町出水市今釜中部落公民館と共に本町公民館が優良公民館として表彰されました。

表彰内容次のとおり。

＝写真説明＝大会会場と表彰式（上）、本町公民館の運営発表（下）

表彰状

加治木町公民館

貴館は町づくりの拠点として公民館の本質に基づく各種活動が活潑になされ特に各団体機関との連けいを密にした運営に力を入れ資料の整備充実も立派でよく中央公民館としての機能を発揮しておられるので優良公民館として表彰しさらに今後の努力を期待します

昭和三十七年二月四日

鹿児島県教育委員会　印

鹿児島県公民館連絡協議会　印

農業委員会から三つのお知らせ

農業経営規模の拡大、近代化のために農地の利用調整上左記取り扱いに御協力方お願いいたします。

記

一、耕作の都合上農地の交換分合をしたい方は申し込んでいたゞきますと「交換のあつせん」をいたします。なお、農業委員会で、あつせんをした分については、登録税（印紙代）も千分の一（売買登記の約十分の一）に軽減されますので御利用ください。

（詳細についてはお問い合せ願います）

二、現況農地であるが、諸条件によりどうしても耕作のできない農地については、定められた様式も準備してありますので、必ず県知事の許可をうけて後、宅地、山林に転用してください。

三、土地台帳は農地であるが現況（昭和十六年以前）が山林で地目を変換すべきものについては、四月末日までに届け出を願います。

それに基ずいて大字毎の計画をして、現況の確認証明をいたしますので、地目の変換をしていただきたいと思います。

小中学校教職員人事

―四月一日付―

（町教委）

⊙転出

△加治木中学校教諭　田平重雄（高千穂小学校教頭へ）

△加治木中学校教諭　元池博（岩川高等学校教諭へ）

△加治木中学校教諭　大久保昭（長崎県高等学校教諭へ）

△加治木中学校教諭　中野清彦（和泊中学校教諭へ）

△加治木中学校教諭　猪鹿倉美和（桜峯小学校教諭へ）

△竜門中学校教諭　大脇三二（加治木中学校教諭へ）

△永原中学校教諭　小浜忠雄（種子島高等学校教諭へ）

△柁城小学校教諭　中村静夫（青瀬小学校教頭へ）

△柁城小学校教諭　高浜正海郎（加治木中学校教諭へ）

△錦江小学校教諭　山崎一文（永水小学校教諭へ）

△鎮守小学校教諭　長谷川保（漆小学校教諭へ）

△錦江小学校事務職員　駒走綱任（野田高等学校事務職員へ）

⊙退職者

△柁城小学校長　安楽久志（勇退）

△永原小中学校長　園田貞夫（勇退）

△ひなば分校主任　玉利重彦（勇退）

△錦江小学校教諭　山本文枝（依願）

△永原小学校教諭　肥後洋子（依願）

△柁城小学校教諭　田中重雄（国分小学校）

△永原中学校長　岡元成穂（幸田小、中学校）

△永原小学校長　山元一男（平山小、中学校）

△加治木中学校教諭　鎌田睦（福山中学校）

△加治木中学校教諭　堀一矢（吉松中学校）

△加治木中学校教諭　留岡繁男（志布志小学校）

△加治木中学校教諭　内山良三（新採用）

△加治木中学校教諭　武井紀子（新採用）

△加治木中学校教諭　松山祥子（新採用）

△竜門中学校教諭　田代貞治（鶴宮中学校）

△永原中学校教諭　郡山四男（朝陽中学校）

△柁城小学校教諭　有馬純豊（大成小学校）

△錦江小学校教諭　金子高子（名瀬小学校）

△永原小学校教諭　荒瀬米恵（深川小学校）

△永原小学校助教諭　野元邦子（新採用）

△錦江小学校事務職員　福崎春男（国分中学校）

△錦江小学校養護婦　緒方幸子

各方面から寄附

育英奨学資金へ

町では、五年前から育英制度を設け、該当者に資金の貸付けをしていますが、次の方々から寄をいただきました

一金　参千円　柁城校区婦人会殿

一金　壱千五百円　桜井義雄殿（本町）

一金　弐千円　有田久子殿（本町）

5月3日に町内少年相撲大会開く

例年11月に開いていました町内少年相撲大会は、今年は5月3日に開くことになりました。優勝チームには、郷土出身鶴ケ嶺関から贈られた優賞カツブが授与されます。場所、時間、チーム編成などについては、近く関係者の会をひらいてきめることになつております。